エコアクション21
環境経営レポート

株式会社　戸髙製作所

活動期間：2024年4月 ～ 2025年3月

大分市
七瀬（ななせ）川自然公園

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21
認証番号0013790

発効日：2025年　6月　12日〔第4版〕

題目　　ページ数

1・ 環境経営方針 3

2・ 組織の概要 4

3・ エコアクション21実施体制 5

4・ 役割と責任及び権限 6

5・ 中期環境経営目標 7

6・ 環境経営計画の事業部ごとの取り組みと評価

- 加工事業部　加工課 8
- 加工事業部　生産課/営業 9
- FA事業部 10
- 船舶事業部 11

7・ 環境経営目標の実績と評価　及び　次年度の取組 12

8・ 環境関連法規などの取りまとめと遵守評価記録 15

9・ 代表者による全体の評価見直し記録 16

10・ 中期環境経営目標の策定 17

11・ 環境経営活動の取り組み 18

12・ 緊急事態対応訓練 22

竹田市
くじゅう高原

宇佐市
岳切渓谷

九重町
くじゅう連山

大分の守っていきたい景色

1　環境経営方針

基本理念

株式会社戸髙製作所は、
金属部品精密加工・自動機設計製作・船舶機器開発の
三事業を通し、日本国内ものづくりの礎となることを
誓い、その生産活動において自主的、積極的に、環境
への取組みを推進することにより
持続可能な社会の構築を目指します。

行動指針

①　次の項目を重点項目として継続して取り組みます。
1.電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素の排出量の削減に取り組みます。
2.廃棄物排出量の削減に取組むとともに、リサイクル促進に努めます。
3.水を大切にして、水使用量の削減に取組みます。
4.化学物質使用量の削減、適切な管理に努めます。
5.開発及び生産工程見直し・改善により　生産効率向上に取組みます。
②　当社の事業経営に関する環境関連法規等を遵守いたします。
③　環境経営レポートの定期発行により、環境情報を公開するとともに、地域貢献活動を推進します。
④　環境経営システムの継続的改善に取り組んで参ります。

制定日　2022年6月3日
株式会社　戸髙製作所
代表取締役　　赤坂　武義

2　組織の概要

名称及び代表者

会社名：　株式会社　戸髙製作所

代表者：　代表取締役　　赤坂　武義

設立　：　1970年1月

資本金：　4000万円

所在地

（本社・工場）　大分市青崎1-3-21

環境管理責任者及び担当者（事務局）　電話097-521-1379

環境管理責任者　：取締役統括部長　　金丸　聡

事務局　　：品質保証部　　熊谷　隆徳

事業内容

精密部品加工，半導体製造装置・省力化装置の開発・設計・製造・販売及びサービス，船舶用電子機器の開発・製造・販売及びサービス

事業規模

	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	万円	87,612	87,515	120,044	143,320
従業員数	人	50	53	54	55
床面積	㎡	2145.9	2145.9	2145.9	2145.9

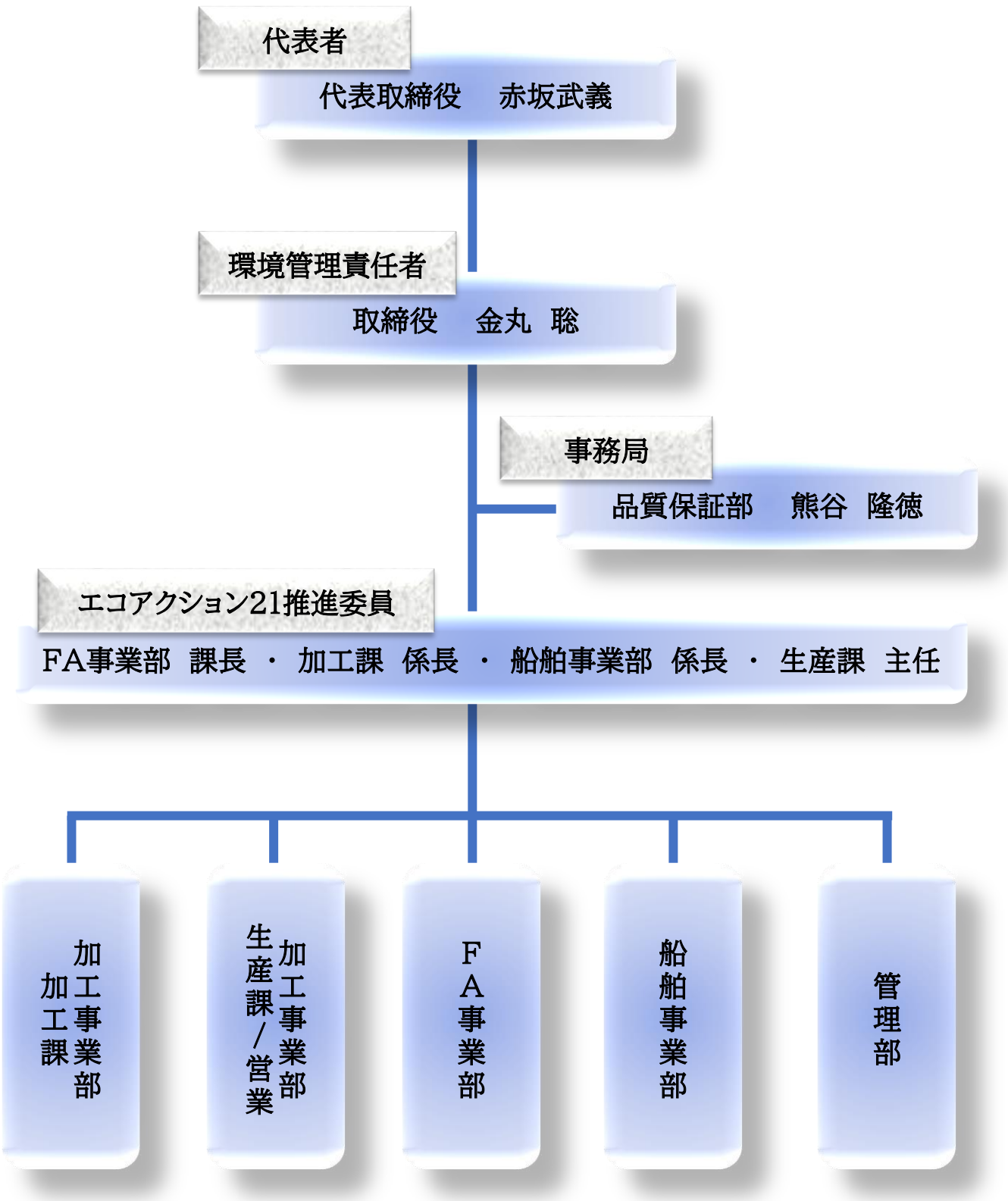
事業年度

【期首】4月1日　～　【期末】翌年3月31日

対象範囲

全組織　、　全活動

3　エコアクション21　実施体制



4　役割と責任及び権限

担当	役割・責任
代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境方針を定める ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局	・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境経営活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成
エコアクション21推進委員	・環境経営目標、環境経営計画の伝達 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境経営活動に関する意見交換 ・自部門における環境経営活動の実施 ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する ・推進委員は各部門長より活動を委託され、相互合意のもと活動を行う
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

5　中期環境経営目標

代表者からの指示を受け2024年度の目標値を見直しを実施しました。
①2024年見直しの為改訂

各年度対象期間：機種4月～期末翌年3月

取り組み年度

No.	環境目標	基準値（2021年度基準）	2023年度 目標値 / 基準値比	2024年度 目標値 / 基準値比	
1	二酸化炭素排出量の削減 単位 kg-CO2	402,662	398,675 △1.0%	402,662 0%	①
1-1	電力消費量の削減 単位 kWh	801,118	793,186 △1.0%	801,118 0%	①
1-2	ガソリン消費量の削減 単位 ℓ	6,692	6,626 △1.0%	6,593 △1.5%	
2 2-1	一般廃棄物排出量の削減 単位 kg	1,080	1,059 △2.0%	1,049 △3.0%	
2 2-2	産業廃棄物排出量の削減 単位 kg	31,705	31,083 △2.0%	30,782 △3.0%	
3	水消費量の削減 単位 ㎥	330	327 △1.0%	325 △1.5%	

4	生産効率向上による環境への効果	・新たな開発や生産工程見直しによる時短に取り組み、電力消費量を抑制する。
5	品質不具合削減による環境への効果	・打ち合わせや段取りをしっかり行い、不具合削減に努める。 ・ロスを削減することにより、再製作時の電力消費量を抑える。

※　CO2排出係数は　九州電力2020年度　0.479kg-CO2/kWh（調整後排出係数）
※　軽油とLPGについては使用量が少ないので目標に設定せず日常管理に努めて参りますが、
　　CO2排出量の合計の項目には含めます。
※①　2024年度二酸化炭素排出量及び電力消費量の目標値については、生産増加による
　設備高稼働を見込んでおり、2021年度と同値を目標とする。

6　環境経営計画の事業部ごとの取り組みと評価

部署名：　加工事業部
加工課

取組結果基準　〇出来た　△一部出来た　×　出来なかった

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動	頻度	責任者	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力消費量の削減	1　昼休み、不在時の消灯	毎日		〇
			2　帰宅前のPCの電源オフ	毎日		△
			3　帰宅前の機械電源断、電源オフ	毎日		△
			4　エアコンフィルターの定期清掃	毎月		△
			5　気温の状態により、エアコンの温度調整	毎日		△
			6　気温の状態により、エアコン稼働台数の管理	毎日		〇
			7　その日使用しない機械の電源オフ	毎日		〇
			8　エアコンプレッサーのフィルター清掃	毎週		〇
	1-2	ガソリン消費量の削減				
廃棄物排出量削減	2-1	一般廃棄物排出量の削減	1　リサイクルボックスの活用	毎日		〇
			2　裏紙使用の推進（チェックシートなど）	毎日		×
	2-2	産業廃棄物排出量の削減	1　リサイクルボックスの活用	毎日		〇
			2　金属を含む廃棄物はバラしてリサイクル可能な様分ける	毎日		〇
3		水使用量の削減	1　現場、お手洗いに節水ステッカーの設置	7月		〇
			2　水使用量の定期検査	毎月		△
4		生産効率向上による環境への効果	1　加工方法見直しによる、加工時間削減	毎日		〇
			2　中抜き品など、外形寸法の縮小提案	毎日		△
			3　加工能力、効率の高い工具や砥石の検討	毎日		△
			4　加工部署変更などによる、加工の高効率化提案	毎日		〇
5		品質不具合削減による環境への効果	1　不具合傾向、集計による見える化	毎日		〇
			2　各工程間での不具合品についてのミーティング	毎週		〇
			3　加工者各自のミス傾向の把握見直し	毎月		〇

2024年度の反省点

意識出来ているメンバーは常時通常業務として取り組んでくれていますが、意識の薄いメンバーは、
言われたらやるというスタンスになっていたので、2025年度はその点を改善したい。

2025年度の取り組み

加工部署に若い社員も増えましたので、担当者の更新を行います。
温度管理の意識、機械待機時の電源off、エアコン稼働台数の管理などは意識付け出来ているので、
無駄な電力は最小限に抑えられていると感じています。引き続き取り組んでいく。

6　環境経営計画の事業部ごとの取り組みと評価

部署名:　加工事業部
生産課/営業

取組結果基準　〇出来た　△一部出来た　×　出来なかった

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動	頻度	責任者	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力消費量の削減	昼休み、不在時の消灯	毎日		〇
			PC退社時の電源オフ	毎日		〇
			冷房室温の設定　冬23℃　夏26℃	毎日		〇
			エアコンフィルターの掃除	月1		△
			冬季以外の給湯の停止	毎日		〇
			ブラインドを活用し遮光する	毎日		〇
			サーキュレーターの活用	毎日		〇
			換気による外気の取り入れ	毎日		〇
	1-2	ガソリン消費量の削減	点検（空気圧など）	偶数月		〇
			エコドライブの励行	毎日		〇
			燃費チェック（月1）	月1		△
廃棄物排出量削減	2-1	一般廃棄物排出量の削減	使い捨て製品の購入の抑制	毎日		〇
			社内情報のペーパーレス化	毎日		△
			裏紙使用の推進	毎日		〇
			ゴミの分別の徹底	毎日		〇
	2-2	産業廃棄物排出量の削減				
3		水使用量の削減	蛇口を大きく開かない	毎日		〇
			手洗い後蛇口をしっかりしめる	毎日		〇
4		生産効率向上による環境への効果	材料寸法指示ミスを無くす為の対策の徹底	都度		〇
5		品質不具合削減による環境への効果				

2024年度の反省点

日常的に行う活動については皆が意識せずとも行える様になっていましたが、時間を割く必要のある活動は業務に忙しく出来ない月もありました。

2025年度の取り組み

今年度はきちんと時間を設け〇を増やしていきたいです。
新入社員も取組メンバーに加えたので、会社で行っているEA活動を説明し皆で協力していきます。

6　環境経営計画の事業部ごとの取り組みと評価

部署名：　FA事業部

取組結果基準　○出来た　△一部出来た　×　出来なかった

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動	頻度	責任者	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力消費量の削減	1.昼休みの消灯	毎日		○
			2.冷暖房の設定温度厳守 （設定温度：冷24/暖22℃）	毎日		○
			3.PC・モニタの退社時の電源オフ	毎日		○
			4.エアコンフィルターの定期的清掃 （設計室・組立室）	毎月		△
	1-2	ガソリン消費量の削減	1.エコドライブの推進	毎週		△
			2.燃費のチェック	毎月		○
			3.車両点検の実施	毎週		○
廃棄物排出量削減	2-1	一般廃棄物排出量の削減	1.裏紙使用の推進	毎日		○
			2.ゴミの分別の徹底	毎週		○
	2-2	産業廃棄物排出量の削減	1.産業廃棄物の分別	毎日		○
			2.リサイクル推進 （廃棄予定ネジ回収BOXの整理）	毎月		○
3		水使用量の削減	1.蛇口を大きく開かない（給湯室、食堂）	毎日		○
			2.蛇口をきちっと閉める（給湯室、食堂）	毎日		○
			3.水漏れチェック （水道メータ確認）2022年12月より	奇数月		○
4		生産効率向上による環境への効果	1.開発時のDRの実施	都度		○
			2.治工具の点検整備	都度		○
5		品質不具合削減による環境への効果	1.開発時のDRの推進	都度		△
			2.チェックシート利用の推進	都度		○

2024年度の反省点

大半の方は意識して取り組んで頂いてますが、
仕事に追われ、若干中だるみ感が出てきてるように見受けました。

2025年度の目標

人数も増えましたので責任者を数名入れ替えました。
2024年度に△だった項目は、○に出来る様、声掛けし進めたいと思います。

6　環境経営計画の事業部ごとの取り組みと評価

部署名：　船舶事業部

取組結果基準　〇出来た　△一部出来た　×　出来なかった

環境方針の番号		目標課題	具体的な行動	頻度	責任者	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力消費量の削減	昼休み、長時間不在時の消灯	毎日		〇
			長時間不使用時のPC、モニター電源OFF	毎日		△
			エアコンフィルターの清掃	2カ月		△
			冷房の温度設定制限（冷：26℃以上、暖：22℃以下）	毎日		〇
			サーキュレーターの活用	毎日		〇
			ブラインドによる遮光	毎日		〇
			中間期（真夏、真冬以外）の外気取り入れ	毎日		〇
			服装による温度調節（寒い日に着込む等）	毎日		△
	1-2	ガソリン消費量の削減	車両点検（タイヤ空気圧など）	毎月		〇
			エコドライブの励行（急加速、急発進などしない）	都度		△
			燃費チェック	毎月		〇
			ハイブリッド、軽自動車の優先利用	都度		〇
廃棄物排出量削減	2-1	一般廃棄物排出量の削減	ペーパーレス化の励行	毎日		〇
			裏紙使用の励行	毎日		〇
			ゴミの分別	毎日		〇
	2-2	産業廃棄物排出量の削減	在庫の管理	都度		〇
			ゴミの分別	毎日		〇
3		水使用量の削減	蛇口を大きく開かない（給湯室、食堂）	毎日		〇
			蛇口をきちっと閉める（給湯室、食堂）	毎日		〇
			水漏れチェック（水道メータ確認）	偶数月		〇
4		生産効率向上による環境への効果	開発時のDRの実施	都度		〇
			治工具の拡充	都度		△
			治工具の点検整備	都度		△
			手順書活用	都度		〇
5		品質不具合削減による環境への効果	開発時のDRの推進	都度		〇
			チェックシート利用の推進	都度		〇
			手順書活用	都度		〇

2024年度の反省点

・船舶事業部では毎月評価するようにしていましたが、特に年度末付近は業務多忙で実施が出来ていない月がありました。

・昨年度と比べ、「×」が大幅に減ったことは良かったが、「〇」が「△」になってしまった項目がありました。

2025年度の取り組み

・引き続き毎月の評価を行い、取り組みへの意識を忘れないようにします。

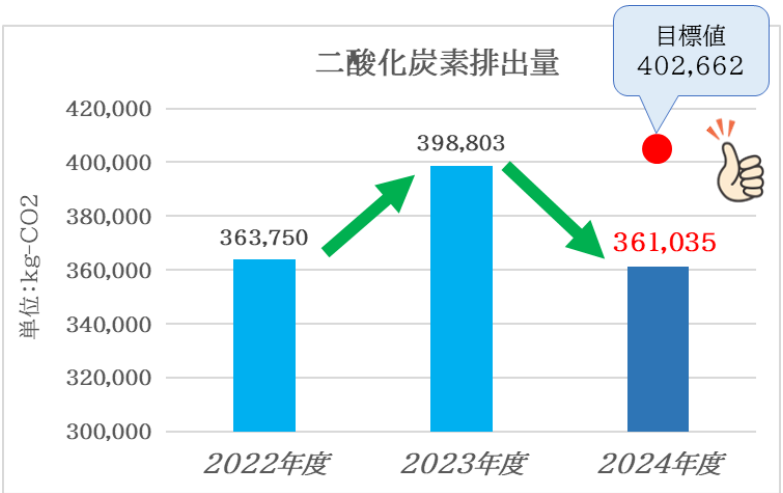
・メンバーが増えたので、責任者の見直しを行います。

7　環境経営目標の実績と評価　次年度の取り組み①

二酸化炭素排出量排出量の削減

評価：　◎大変良い、○良い、△あともう少し

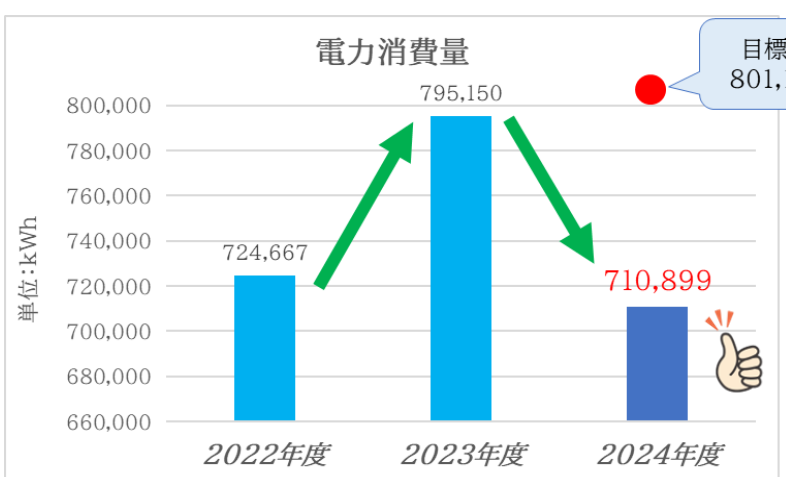
No.	環境目標	基準値（2021年度基準）	2024年度目標値　/　基準値比	2024年度実績値	達成率	評価
1	二酸化炭素排出量の削減 単位　kg-CO2	402,662	402,662 0%	361,035	112%	◎
		【評価と次年度の取り組み】 2024年度は電力量を大幅に削減できたことにより、112%の達成率となりました。 エコアクション21活動を開始してから3年が経過しましたが、一番の結果となっております。 二酸化炭素排出量削減のために、当社の環境負荷の95%を占める電力消費量を第一ターゲットにし、削減努力を続けて参ります。			



電力消費量の削減

評価：　◎大変良い、○良い、△あともう少し

No.	環境目標	基準値（2021年度基準）	2024年度目標値　/　基準値比	2024年度実績値	達成率	評価
1-1	電力消費量の削減 単位　kWh	801,118	801,118 0%	710,899	113%	◎
		【評価と次年度の取り組み】 24時間稼働していたクリーンルーム設備の停止により、年間で約1.5か月分の大幅な電力削減を実現しました。デマンド計を監視し、日頃から工作機械の稼働管理やエアコンの温度調整を積極的に行い続けたことも、この大きな成果に貢献しました。 2025年度は、更なる生産量アップの為に工作機械の導入を行います。電力使用量の増加を予想しますが、ピークシフト、工作機械電源のON/OFF管理を行い待機電力削減に努め、急激な増加に転じぬよう努力を行って参ります。			

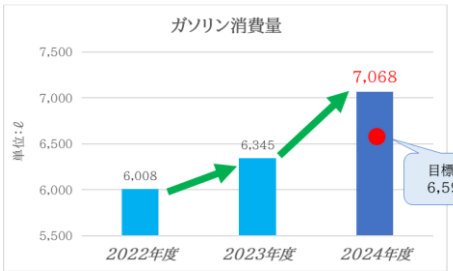


7　環境経営目標の実績と評価　次年度の取り組み②

ガソリン消費量の削減

評価：　◎大変良い、〇良い、△あともう少し

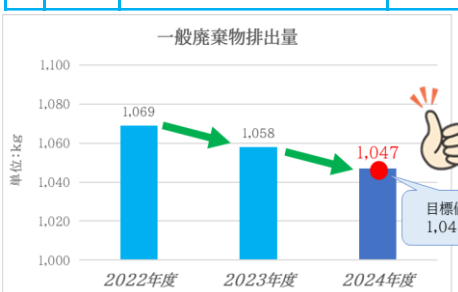
No.	環境目標	基準値（2021年度基準）	2024年度目標値 / 基準値比	2024年度実績値	達成率	評価
1-2	ガソリン消費量の削減 単位　ℓ	6,692	6,593 △1.5%	7,068	95%	△
	【評価と次年度の取り組み】 コロナ禍が明け営業活動を再開する中、年々増加の結果となっております。 そういった結果ですが、エコカーへの転換やエコドライブの推進を積極的に進めておりますので、今後の効果に期待をしております。 2025年度もエコカーの導入、燃費記録表作成によるエコドライブへの意識付け、タイヤの空気圧管理などに取り組んで参ります。					

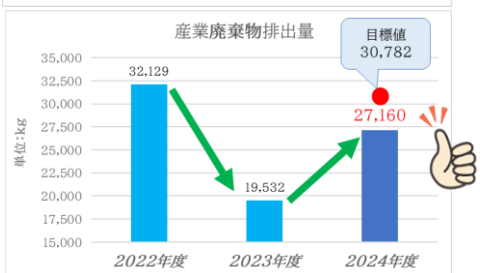


一般廃棄物排出量　産業廃棄物排出量の削減

評価：　◎大変良い、〇良い、△あともう少し

No.		環境目標	基準値（2021年度基準）	2024年度目標値 / 基準値比	2024年度実績値	達成率	評価
2	2-1	一般廃棄物排出量の削減 単位　kg	1,080	1,049 △3.0%	1,047	103%	〇
		【評価】 計画通りの削減を達成いたしました。製作用図面などペーパーレス化が少しずつではありますが進んできたことによって、成果を上げてきております。 2025年度も引き続きペーパーレスを検討し実行して参ります。					
	2-2	産業廃棄物排出量の削減 単位　kg	31,705	30,782 △3.0%	27,160	117%	◎
		【評価と次年度の取り組み】 2024年度は2023年度と比較すると、加工事業部の生産量増加により金属クズの排出量が増加したことによって総排出量も増加しましたが、目標に対しては達成となっております。 2025年度もリサイクル・分別を推進していき、資源として活かせる取り組みを続けて参ります。					



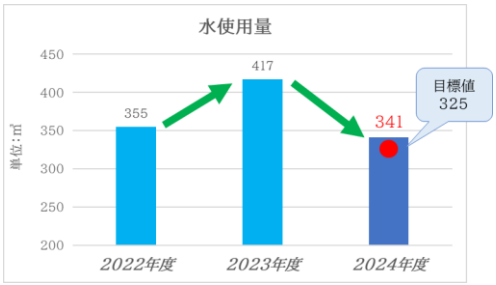


7　環境経営目標の実績と評価　次年度の取り組み③

水使用量の削減

評価：　◎大変良い、○良い、△あともう少し

No.	環境目標	基準値（2021年度基準）	2024年度 目標値 / 基準値比	2024年度 実績値	達成率	評価
3	水消費量の削減 単位　㎥	330	325 △1.5%	341	97%	△
		【評価と次年度の取り組み】 2023年度との比較では削減できておりますが、目標に届かない結果でありました。 新入社員の入社などによる人員分の増加が影響しております。 2025年度は節水の呼び掛けを強化するとともに、水道メーターの監視による漏水対策も引き続き行っていき、使用量削減につなげていきたいと考えております。			



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

6 安全な水とトイレを世界中に

14 海の豊かさを守ろう

生産効率向上による環境への効果

評価：　◎大変良い、○良い、△あともう少し

No.	環境目標	【評価と次年度の取り組み】	評価
4	生産効率向上による環境への効果	・FA事業部、船舶事業部ではDRの実施が行われており、情報が共有化され効率の良い業務活動が進められております。 取り組み項目で、治工具類の整備が業務多忙で進捗が悪くなっております。 作業によってはケガといった災害に繋がる恐れもあり、2025年度には重点項目として取り組んで参ります。 ・加工事業部では加工方法の見直しが進められ、時短やコストダウンが出来ております。 まだ一部検討段階のものや進捗が悪い事項もあり、2025年度の取り組みとして継続されております。	○

品質不具合削減による環境への効果

評価：　◎大変良い、○良い、△あともう少し

No.	環境目標	【評価と次年度の取り組み】	評価
5	品質不具合削減による環境への効果	・品質に関わる点でのDRの進め方については、どの事業部とも取り組みに苦慮している報告が上がってきております。 お客様にお納めする製品に大きく影響を及ぼす部分でありますので、 しっかり取り組んでいけるよう、2025年度も引き続きの課題としております。 ・不具合情報の見える化を進めており、不具合の潜在リスクを全員で共有し考えていける環境づくりを進めております。 担当者が不具合リスクを事前に把握し、防止できるスキルを育んでくことで、不具合によるロスの低減につなげて参ります。	○

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

3 すべての人に健康と福祉を

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

8　環境関連法規などの取りまとめと遵守評価記録

・遵守すべき法規　　評価担当者　：　事務局

法律名称	当社に適用される要求事項	評価時期	評価記録	適・否
廃棄物処理法	【産業廃棄物保管基準】 ・見やすい箇所に必要事項が記載された掲示板の設置 ・飛散、流出、地下浸透、悪臭の発散がない措置 ・ネズミ、蚊、ハエその他の害虫が発生しない措置	日常	現状監視	適
	【産業廃棄物委託基準】 ・知事の許可を受けた収集運搬業者かつ処理業者との3者間で契約 ・委託契約書の締結 ・契約終了後、5年間は契約書の保管 ・委託内容は許可範囲内で行い、書面に記載する。	毎年	委託契約書 許可証写し	適
	【マニフェスト】 ・すべての産業廃棄物にマニフェストを交付する。	日常	マニフェスト	適
	【マニフェスト】 ・A票、B2票、D票、E票を5年間保管	毎年	マニフェスト	適
	【マニフェスト】 ・90日以内にB2、D票、180日以内にE票の送付が無い場合は、業者に照会し、状況を30日以内に行政へ報告	月1回	産業廃棄物管理票未回収報告書	適
消防法	危険物の貯蔵、取扱い（指定数量以下）の規制遵守	日常	現状監視	適
フロン排出抑制法	エアコンの点検　業務用エアコン室外機 フロン式コンプレッサー	年4回	点検記録	適
劇物取締	規制遵守 ①盗難紛失を防ぐ措置をとらなければ できるようにする。 ②飛散、漏れが無きよう措置、監視を行う。 ③盗難、紛失の場合は警察署に届け出る。		現状監視	

使用していた薬品を劇物以外に変更したことにより該当無し。

・環境関連法規の遵守状況
　法令違反はありませんでした。
・周辺からの苦情の有無
　期間内、ありませんでした。
・関連機関からの行政指導
　期間内、ありませんでした。

9　代表者による全体の評価見直し記録

実施日：	2025年5月13日
出席者：	赤坂　武義　、　熊谷　隆徳

環境情報	所見	代表者の評価･コメント
①　環境関連法規等の遵守状況確認結果	遵守できていました。	法規遵守できています。
②　環境経営目標の達成状況	CO2排出量、電力消費量、一般廃棄物、産業廃棄物は達成。 ガソリン消費量、水消費量については未達成となりました。	各目標とも積極的に取り組み、良い成果でありました。　電力消費量については、過去最高の削減値となり、日頃の活動の成果が表れています。
③　環境経営計画の実施状況	各事業部とも忙しい中、推進委員を中心に活動に取り組み成果を上げております。	項目の評価の中に、△や×の結果となったものも見受けられます。なぜそうなったのかの分析をしっかり行い、2025年度の取り組みで改善していけるように活動してください。
④　問題点の是正、予防の状況	問題点はありませんでした。	特にありません。
⑤　外部からの苦情の有無及び対応結果	苦情はありませんでした。	苦情や問題は発生しておりません。
⑥　その他	特にありません。	特にありません。

･見直しの必要性判断と　代表者の指示

①環境経営方針	継続して行っていく。
②環境経営目標	活動開始よりの3年間の見直しを実施し、現状に即した新たな環境経営目標を策定するよう指示しております。
③環境経営計画	2024年度の取り組み項目で結果として出なかったものについて、2025年度では改善できるよう指示しております。
④実施体制	推進委員は継続としていく。　新入社員など新たなメンバーが増えた中、各取り組みの責任者として、積極的に登用していくように指示しております。
⑤その他の指示	継続して行っていく。

代表者の総括

我々製造業の生産活動が環境に及ぼす影響は大きく、今後も環境に配慮した形で発展していくことが求められて参ります。
生産過程での電力消費を抑えるための省力化への取り組み、資源の循環利用を推進し廃棄物削減への取り組みなど、あらゆる面を考慮した持続可能な発展への取り組みが求められます。
我々戸髙製作所も小さなところから責任を果たすべく、設備稼働の効率化による節電、
リサイクルの推進による廃棄物の削減、水などの資源の効率的な使用など、社員一人一人がいま自分たちにできることにしっかり向き合い、引き続き環境経営に取り組んでいけることに期待していきたい。「もったいない文化」を大切にしていきましょう。

10　中期環境経営目標の策定

過去の3年経過した実績値を基に、あらたな環境経営目標を策定する。

各年度対象期間：期首4月　～　期末翌年3月末

No.		環境目標	基準値（3か年平均値）	2025年度 目標値 / 基準値比	2026年度 目標値 / 基準値比	2027年度 目標値 / 基準値比
1		二酸化炭素 排出量の削減 単位 kg-CO2	389,000	387,065 △0.5%	385,149 △1.0%	383,251 △1.5%
1	1-1	電力消費量の 削減 単位 kWh	780,000	776,119 △0.5%	772,277 △1.0%	768,473 △1.5%
1	1-2	ガソリン消費量の 削減 単位 ℓ	6,400	6,368 △0.5%	6,337 △1.0%	6,305 △1.5%
2	2-1	一般廃棄物 排出量の削減 単位 kg	1,060	1,050 △1.0%	1,039 △2.0%	1,029 △3.0%
2	2-2	産業廃棄物 排出量の削減 単位 kg	30,000	29,703 △1.0%	29,412 △2.0%	29,126 △3.0%
3		水消費量の 削減 単位 ㎥	360	358 △0.5%	356 △1.0%	355 △1.5%

4	生産効率向上による環境への効果	・新たな開発や生産工程見直しによる時短に取り組み、電力消費量を抑制する。
5	品質不具合削減による環境への効果	・打ち合わせや段取りをしっかり行い、不具合削減に努める。 ・ロスを削減することにより、再製作時の電力消費量を抑える。

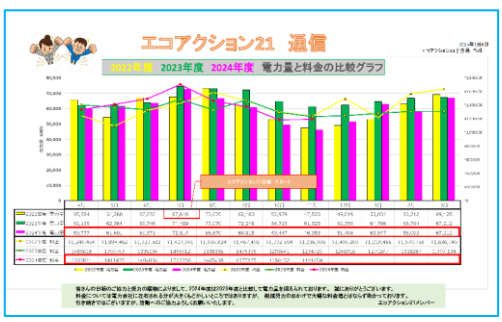
※　CO2排出係数は　九州電力2023年度　0.402kg-CO2（調整後排出係数）
※　軽油とLPGについては使用量が少ないので目標に設定せず日常管理に努めて参りますが、
　　CO2排出量の合計の項目には含めます。

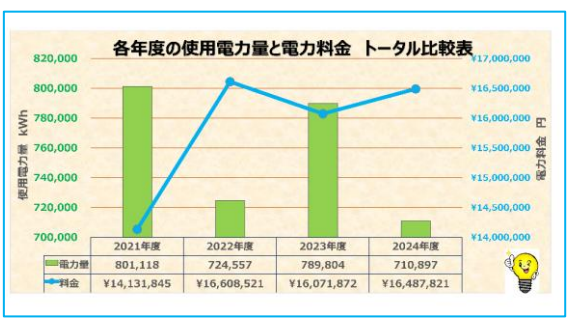
11　環境経営活動の取り組み①

①電力使用量削減への取り組み

◆使用量監視のためのデマンド計の増設 （工作機械を据え付けている部屋へ設置）

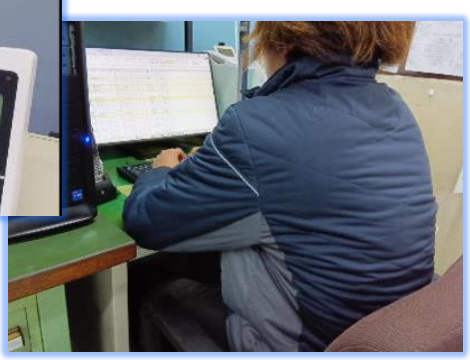
◆電力量と電気料金のグラフの掲示





◆電源オフの励行

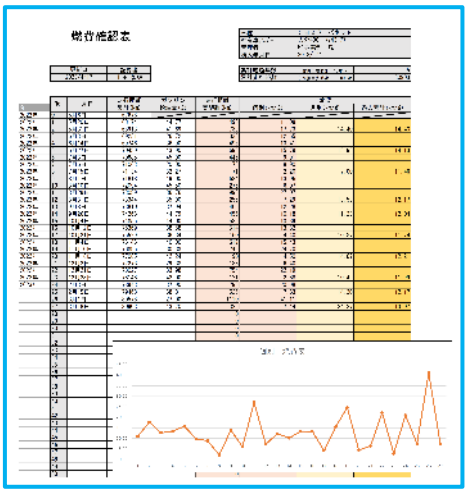
◆その他　温度管理のためのスイッチへの表示 ・ サーキュレーターの活用
クールビズ･ウォームビズの実施



11　環境経営活動の取り組み②

②ガソリン使用料削減への取り組み

◆社有車ごとの燃料消費グラフの作成　◆エコカー導入の推進



③水使用量削減への取り組み

◆節水表示　　◆毎月の水道メーターの監視

水道メーター記録表　【場所：駐車場入り口】

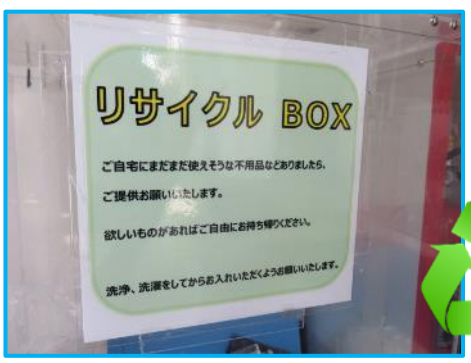
記録開始日：2022/11/1

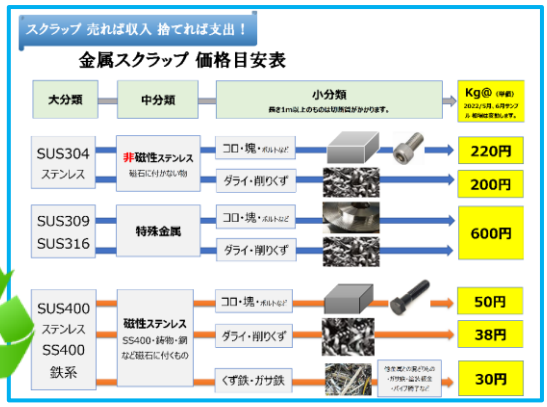
※小数点以下は省略

No.	記録日	記録者	メーター[㎥]	前月からの増量[㎥]	稼働日数	1日あたりの使用量[㎥]
1	2022/11/1	金丸部長	1247	—	20	
2	2022/12/1	尾形	1271	24	20	1.2
3	2023/1/5	佐内	1296	25	20	1.25
4	2023/2/2	尾形	1321	25	18	1.25
5	2023/3/1	佐内	1343	22	19	1.1
6	2023/4/1	尾形	1369	26	22	1.3
7	2023/5/8	佐内	1396	27	21	1.35
8	2023/6/1	尾形	1421	25	18	1.25
9	2023/7/4	佐内	1451	30	23	1.5
10	2023/8/1	尾形	1476	25	20	1.25
11	2023/9/1	佐内	1502	26	21	1.3
12	2023/10/2	平松	1530	28	21	1.4
13	2023/11/1	佐内	1560	30	21	1.5
14	2023/12/4	平松	1590	30	21	1.5
15	2024/1/5	佐内	1617	27	20	1.35
16	2024/2/1	平松	1644	27	19	1.35
17	2024/3/1	佐内	1671	27	21	1.35
18	2024/4/1	平松	1701	30	21	1.5
19	2024/5/7	佐藤	1726	25	21	1.25
20	2024/6/6	平松	1753	27	22	1.35
21	2024/7/1	佐藤	1773	20	20	1

④一般廃棄物　及び　産業廃棄物削減への取り組み

◆リサイクル、分別の推進　　◆金属スクラップ買取価格表の掲示

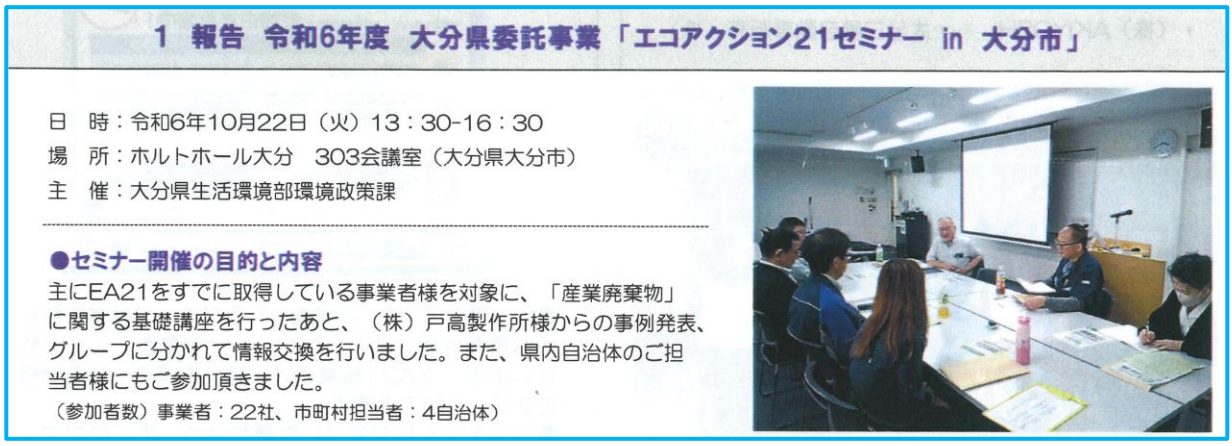


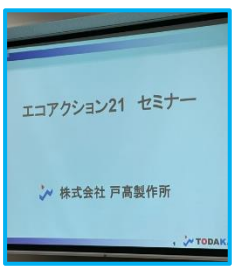


11　環境経営活動の取り組み③

⑤社外活動

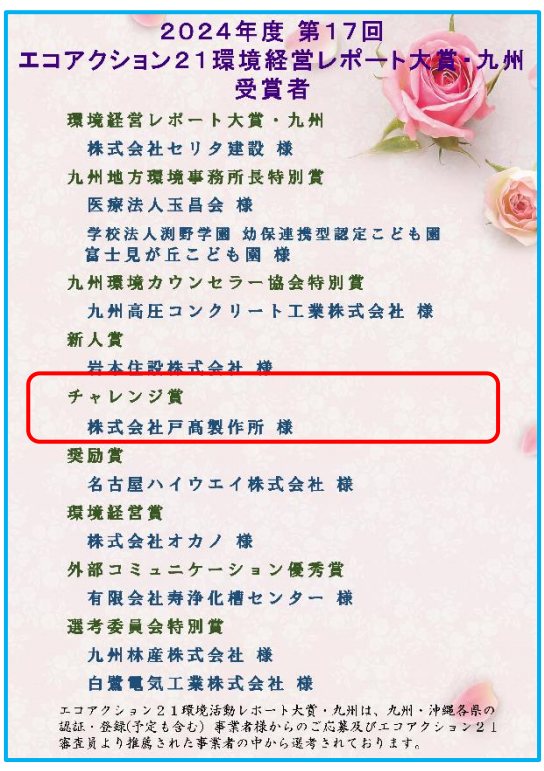
◆令和6年度　大分県委託事業「エコアクション21セミナー　in　おおいた」
戸髙製作所　エコアクション21活動事例発表





エコアクション21：大分会場のセミナーで当社の取り組みを発表いたしました。

◆令和6年度　第17回　環境経営レポート大賞・九州 「チャレンジ賞」 受賞
2025年　1月17日



11　環境経営活動の取り組み④

⑤社外活動

◆大分県様ホームページにエコアクション21に取り組んでいる事業所として、
取り組み動画を紹介しております。

「エコアクション21」を取得しませんか

⑥交通安全活動

◆交通安全ポスターの掲示

◆交通安全のぼりの設置

12　緊急事態対応訓練①

①AED（自動体外式除細動器）使用訓練　及び　心肺蘇生訓練の実施

訓練名	AED（自動体外式除細動器）使用訓練　心肺蘇生訓練		
実施日	2024年7月5日	訓練場所	応接室
訓練対象部署	全部署	教育管理者	金丸、セコム指導員

訓練内容	・AEDの使用手順 （各部品の説明、一連の流れの説明、使用部品の管理方法） ・人体模型を使用し心肺蘇生の手順 （胸骨圧迫及び人工呼吸のポイント）
訓練後課題	・実際の現場に遭遇した際に、冷静な対処ができるよう心構えが必要である。
環境管理責任者の所見	・懸案事項のAEDを設置できた。 ・今回の訓練を受けたことにより、いざという時の備えができた。
改善実施内容	・特にありません。

実施風景　（写真などを添付）

12　緊急事態対応訓練②

②消防訓練　及び　津波を想定した避難訓練

訓練名	消防訓練 及び　津波を想定した避難訓練		
実施日	2024年7月25日	訓練場所	駐車場
訓練対象部署	全部署	教育管理者	加工事業部主任

訓練内容	・消火ポンプの常設箇所の確認。 ポンプの始動方法の確認及び始動作業実施。 ・放水作業の実施。 ・津波の際の避難箇所への移動。 避難時間、及び経路の危険個所の確認。 （避難時間約8分）（経路は交差点もあり、有事の際は注意し移動が必要）
訓練後課題	・訓練にあたり熱中症など考慮し時期の変更が必要。 ・避難ビル屋上は面積が狭いので、大人数の際は転落に注意が必要。
環境管理責任者の所見	・放水訓練時、これまで未実施の延長ホースの確認が出来ました。 残りのホースについても次回以降確認をしていきたい。
改善実施内容	・特にありません。

実施風景 （写真などを添付）